



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 ジャパンフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2599 URL http://www.japanfoods.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細井 富夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 尾上 晋司 TEL 0475-35-2211
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,118	11.8	812	19.6	827	23.5	570	23.2
2019年3月期第1四半期	4,576	0.3	678	△34.1	669	△34.8	462	△34.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 534百万円 (8.1%) 2019年3月期第1四半期 494百万円 (△30.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	118.26	—
2019年3月期第1四半期	95.97	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	19,832	8,310	41.9
2019年3月期	19,811	7,858	39.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 8,310百万円 2019年3月期 7,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	10.00	—	17.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	10,380	13.2	1,260	2.3	1,270	13.3	850	13.4	176.24
通期	18,300	10.4	730	△4.8	800	17.6	550	—	114.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	5,100,000株	2019年3月期	5,100,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	277,113株	2019年3月期	277,113株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	4,822,887株	2019年3月期1Q	4,822,888株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての内容等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、輸出や生産には弱さが見られ、また、米中間の通商問題が世界経済に与える影響などから、先行き不透明な状況となっております。

国内飲料業界におきましては、改元に伴う大型連休の需要増などがあったものの、原材料や物流費などコスト増に伴う一部商品の値上げや6月の天候不順による気温の低下などの影響により、業界全体の販売数量は、前年同期比2%減(飲料総研調べ)となりました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は5,118百万円(前年同期比11.8%増)、営業利益は812百万円(前年同期比19.6%増)、経常利益は827百万円(前年同期比23.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は570百万円(前年同期比23.2%増)となりました。

当社グループは、2019年度から2021年度までの3カ年を対象とした新中期経営計画を公表しました。

“JUMP2015”ならびに“JUMP+2018”の経営方針及び方向性を堅持しつつ、持続的成長への危機感を持ち、「次のステージ」へ挑戦いたします。

また「全員躍動」をキーワードに、社員ひとりひとりが、自ら考え行動する「自立自発」の意識を持ち、「100年企業」の実現に向けて、「“JUMP++2021”一次のステージへ」に取り組んでまいります。

当年度におきましても、ブランド価値を意識した飽くなき品質向上の追求を行い、生産効率向上、厳格なコスト管理及び省エネや物流への対策等による経費削減の徹底、また業界各社の需要変化にいち早く対応し、収益アップを目指してまいります。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更した後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(国内飲料受託製造事業)

国内飲料受託製造事業につきましては、積極的な受注活動を行った結果、新製品対応設備工事によるライン停止及び包材の軽量化による一時的な生産効率の低下などがあった前年同期の反動もあり、当第1四半期連結累計期間における受託製造数は13,725千ケース(前年同期比9.5%増)、売上高は5,064百万円(前年同期比12.0%増)、セグメント利益は813百万円(前年同期比22.8%増)となりました。

(海外飲料受託製造事業)

海外飲料受託製造事業(連結対象期間:2019年1月から3月期)につきましては、セグメント損失は1百万円(前年同期はセグメント損失8百万円)となりました。

(その他の事業)

水宅配事業(連結対象期間:2019年4月から6月期)につきましては、売上高は48百万円(前年同期比4.8%減)となりましたが、一部配送業務の内製化などによる経費の削減効果により、セグメント利益は12百万円(前年同期比34.3%増)となりました。

水宅配フランチャイズ事業(連結対象期間:2019年2月から4月期)につきましては、セグメント損失は0百万円(前年同期はセグメント利益4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、5,046百万円となり、前連結会計年度末に比べ456百万円増加いたしました。これは主に、繁忙期に入り売掛金や電子記録債権等が増加したことによるものであります。

固定資産は、14,786百万円となり、前連結会計年度末に比べ434百万円減少いたしました。これは主に、建物及び構築物や機械装置及び運搬具の減価償却によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、4,201百万円となり、前連結会計年度末に比べ182百万円減少いたしました。これは主に、繁忙期に入り買掛金が増加したほか、未払法人税等が増加したものの、未払金や未払消費税等の減少などがあったことによるものであります。

固定負債は、7,320百万円となり、前連結会計年度末に比べ249百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、8,310百万円となり、前連結会計年度末に比べ452百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想については、2019年5月8日に公表しました予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	830,467	587,610
電子記録債権	843,663	1,295,496
売掛金	2,601,935	2,862,004
商品及び製品	29,902	29,725
原材料及び貯蔵品	124,474	124,989
前払費用	132,679	127,609
その他	27,413	19,185
流動資産合計	4,590,537	5,046,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,793,604	12,787,391
減価償却累計額	△7,222,921	△7,322,687
建物及び構築物(純額)	5,570,683	5,464,703
機械装置及び運搬具	29,866,498	28,066,243
減価償却累計額	△23,397,967	△21,876,325
機械装置及び運搬具(純額)	6,468,530	6,189,917
工具、器具及び備品	911,639	917,219
減価償却累計額	△663,891	△676,358
工具、器具及び備品(純額)	247,748	240,860
土地	484,898	484,898
リース資産	58,950	58,950
減価償却累計額	△29,796	△31,077
リース資産(純額)	29,154	27,872
建設仮勘定	69,946	77,343
有形固定資産合計	12,870,961	12,485,597
無形固定資産	337,758	341,197
投資その他の資産	2,012,172	1,959,461
固定資産合計	15,220,892	14,786,256
資産合計	19,811,429	19,832,879

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,108,268	1,386,668
1年内返済予定の長期借入金	948,532	1,014,932
リース債務	7,839	7,942
未払金	1,444,691	1,049,566
未払費用	48,044	40,256
未払法人税等	164,071	271,712
未払消費税等	356,737	145,771
預り金	43,954	95,689
賞与引当金	144,329	73,794
役員賞与引当金	18,375	16,468
固定資産撤去費用引当金	98,000	98,000
その他	324	324
流動負債合計	4,383,168	4,201,127
固定負債		
長期借入金	6,023,136	5,773,403
リース債務	25,889	23,864
固定資産撤去費用引当金	831,200	831,200
退職給付に係る負債	159,939	161,524
資産除去債務	529,742	530,825
固定負債合計	7,569,908	7,320,817
負債合計	11,953,076	11,521,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	628,800	628,800
資本剰余金	272,400	272,400
利益剰余金	6,702,700	7,191,055
自己株式	△264,624	△264,624
株主資本合計	7,339,276	7,827,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	256,209	211,256
為替換算調整勘定	277,248	286,671
退職給付に係る調整累計額	△14,380	△14,623
その他の包括利益累計額合計	519,076	483,304
純資産合計	7,858,353	8,310,935
負債純資産合計	19,811,429	19,832,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,576,813	5,118,463
売上原価	3,293,631	3,572,005
売上総利益	1,283,182	1,546,457
販売費及び一般管理費	604,357	734,253
営業利益	678,825	812,204
営業外収益		
受取配当金	645	665
受取保険金	—	12,146
還付消費税等	2,245	—
補助金収入	—	13,880
その他	3,025	2,660
営業外収益合計	5,916	29,351
営業外費用		
支払利息	9,815	8,373
持分法による投資損失	4,363	2,002
その他	650	4,096
営業外費用合計	14,828	14,472
経常利益	669,912	827,082
税金等調整前四半期純利益	669,912	827,082
法人税等	207,082	256,739
四半期純利益	462,829	570,343
親会社株主に帰属する四半期純利益	462,829	570,343

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	462,829	570,343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,514	△44,953
退職給付に係る調整額	9,332	△242
持分法適用会社に対する持分相当額	△13,005	9,423
その他の包括利益合計	31,842	△35,772
四半期包括利益	494,672	534,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	494,672	534,571

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注4)
	国内飲料 受託製造	海外飲料 受託製造 (注1)	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,520,811	—	4,520,811	56,002	4,576,813	—	4,576,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	1,346	1,346	△1,346	—
計	4,520,811	—	4,520,811	57,349	4,578,160	△1,346	4,576,813
セグメント利益又は損 失(△)	662,465	△8,945	653,519	16,348	669,868	44	669,912

(注) 1. 「海外飲料受託製造」は、持分法適用会社で構成されております。

2. 「その他」の区分は、水宅配事業、水宅配フランチャイズ事業等を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失の調整額44千円は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。

4. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注4)
	国内飲料 受託製造	海外飲料 受託製造 (注1)	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,064,880	—	5,064,880	53,582	5,118,463	—	5,118,463
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	1,291	1,291	△1,291	—
計	5,064,880	—	5,064,880	54,873	5,119,754	△1,291	5,118,463
セグメント利益又は損 失(△)	813,702	△1,064	812,637	14,636	827,274	△191	827,082

(注) 1. 「海外飲料受託製造」は、持分法適用会社で構成されております。

2. 「その他」の区分は、水宅配事業、水宅配フランチャイズ事業等を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失の調整額191千円は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。

4. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、業績管理区分の変更により、従来「国内飲料受託製造」事業に含まれていた事業の一部を「その他」に区分変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期連結会計期間のセグメント利益が「国内飲料受託製造」事業で8,322千円減少し、「その他」が8,001千円、「調整額」が321千円増加しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。